

(案)

資料4-1

令和5年3月〇日

羽曳野市長 山入端 創 様

羽曳野市まち・ひと・しごと創生総合  
戦略推進会議 座長 岡島 克樹

第2期羽曳野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について（答申）

令和4年10月27日付け羽市政第1215号で諮問のありました第2期羽曳野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について、当推進会議で慎重に審議を重ねてきた結果、別添のとおり答申いたします。

なお、下記に付した意見を踏まえ、まちの将来像となる「ひと、自然、歴史文化を育み 笑顔輝く はびきの ～みんなでつくる だれもが住みたいまち～」の実現に向け、適切に各施策を進めていただくことを要望いたします。

記

国によるデジタル田園都市国家構想が掲げる「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」という新しい視点を持ち、市民をはじめ、産業界・関係行政機関・教育機関・金融機関・労働団体等の幅広い連携と協力のもと、まち・ひと・しごとの好循環に向けた取り組みを推進し、人口減少の抑制を図るとともに、持続可能で魅力あるまちの実現に向けて取り組むことを望みます。

また、施策ごとに設定した重要業績評価指標（KPI）の達成に向け、PDCAサイクルを活用し、施策等の進捗管理を行うとともに、その検証に基づき効果的な施策展開を図ることを望みます。